

**Treatfip.org™**  
**GS-441524インジェクション**

### 1.一般名

GS-441524注射剤

### 2.有効成分

GS-441524.....	120 mg
エタノール.....	237 mg
プロピレングリコール.....	1872 mg
PEG.....	3051 mg
希釈塩酸.....	1260 mg

### 3.適応

これは猫の感染性腹膜炎（FIP）の治療に適しています。FIPは猫冠ウイルス（FCoV）によって引き起こされる病気で、猫に影響を与え、腹膜の重篤でしばしば致命的な炎症を引き起こします。

### 4.用量と投与方法

猫の感染性腹膜炎（FIP）の治療のためのTreatfip.org™ GS-441524 INJECTIONの推奨用量は次の通りです：

Wet FIPの場合：0.3 ml/kgを開始し、24時間ごとに投与します。重度および進行した場合、0.4 ml/kgを増やします。

Dry FIPの場合：0.4 ml/kgを開始し、24時間ごとに投与します。重度および進行した場合、0.5 ml/kgを増やします。

Ocular FIPの場合：0.5 ml/kgを開始し、24時間ごとに投与します。重度および進行した場合、0.6 ml/kgを増やします。

Neurological FIPの場合：0.6 ml/kgを開始し、24時間ごとに投与します。重度および進行した場合、0.8 ml/kgを増やします。

### 投与方法

皮下投与の場合、猫の首筋に皮膚の襟を持ち上げ、針を45度の角度で挿入し、ゆっくりと注射します。注射部位を交互に回転させ、獣医の指示に従って副作用をモニタリングします。

### 5.禁忌

GS-441524またはその成分に対する過敏症がある場合。

### 6.注意事項

局所反応：注射部位での赤み、腫れ、痛み、または温かさ。

アレルギー反応：発疹、じんましん、呼吸困難、またはその他のアレルギー症状。

胃腸の不快感：吐き気、嘔吐、または下痢。

## 7.妊娠および授乳中の使用

妊娠中および授乳中の方は、GS-441524注射を使用する前に獣医と相談する必要があります。妊娠中または授乳中のGS-441524注射の使用は、潜在的なリスクと利益の注意深い評価に基づくべきです。

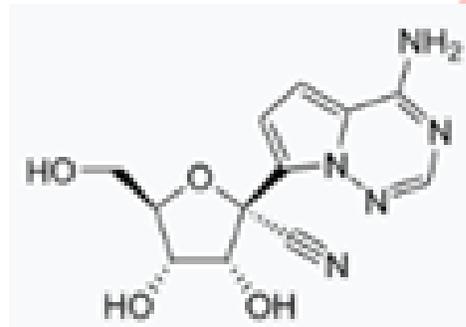
## 8.薬物相互作用

リシンはGS-441524の効果に悪影響を及ぼす可能性があります。リシンは免疫機能に必要なアルギニンと対立するため、与えてはいけません。

GS-441524の注射液にはエタノールが含まれており、セフェムクラスの薬剤と同時に投与されるとジスルフィラム様反応を引き起こす可能性があります。したがって、GS-441524を注射する際にはセフェムクラスの薬剤との同時投与は推奨されません。

## 9.説明

GS-441524はFIPV核酸アナログRNAポリメラーゼ阻害剤としての効果があり、その化学名は(5aR, 6aR, 7R, 9S)-9-(2,3-ジヒドロキシプロピル)-7-メチル-2-(三フッ化メチル)-7,8,9,10-テトラヒドロ-6H-ピリド[4,3,2-de]フタラジン-6-オンです。分子式はC<sub>12</sub>H<sub>13</sub>N<sub>5</sub>O<sub>4</sub>で、分子量は291.26 g/molです。GS-441524の構造式は以下の通りです：



## 10.保存

湿気から守り、30℃を超えない温度で保存してください。凍結しないでください。子供の手の届かない場所に保管してください。

## 11.発売日

医薬品情報シートの最終更新日または発売日：2021年12月。

日本語バージョン

Treatfip.org